

# かがやき



人KENまもる君 人KENあゆみちゃん

発行／福知山人権擁護委員協議会

第14号

2023年(令和5年)

2月発行

京都地方法務局 福知山支局内

TEL (0773) 22-1293



六人部小学校 (福知山市) にて



惇明小学校 (福知山市) にて

## 「人権の花」運動

「誰か」のごとくはない。  
お互いを尊重し、やさしさを育もう。



中筋幼稚園 (綾部市) にて



三和こども園 (福知山市) にて

ウイズコロナ時代を迎えた現状にあって、問題解決のために求められていることは多々あります。人権啓発活動の中での出会い、発見、喜び、感動等の経験はかけがえのないものとして実感しています。

けれどこれからの世界は、今までのセオリーが当てはまらない予測不可能な未知の世界です。多様性と包括性を意識しつつ、誰もが互いの人権を尊重し合う「心のバリアフリー」を推進する為に、人権啓発活動に取り組んでいきますので皆様のご理解をよろしくお願い致します。



福知山人権擁護委員協議会  
会長 山本みさ子



京都府の人権の花  
すいせんの絵  
(児童作品)

# 知ってください!

## “SOSミニレター”をごぞんじですか?

私たち人権擁護委員は、さまざまな人権擁護活動をしています。

今回は「子どもの人権SOSミニレター」の活動について紹介したいと思います。  
命を守ることも重要な重点活動です。

### みなさまへ

法務省の人権擁護機関である「人権擁護委員協議会」では、学校における「いじめ」や体罰、家庭内での虐待などの問題に対する活動として、全国の小学校・中学校の児童・生徒に「子どもの人権SOSミニレター」を配布し、これを通じて先生や保護者にも相談できない子どものなやみごとの的確に把握し、学校及び関係機関と連携を図りながら、子どもをめぐる様々な人権問題の解決に当たっています。

「子どもの人権SOSミニレター」に相談したいことを書いて、ポストに投函すれば、最寄りの法務局に届きます。  
法務局では人権擁護委員がミニレターの返事を書いています。  
配布された「子どもの人権SOSミニレター」を使って、ぜひご相談ください。



### 子どものみなさんへ

学校で「SOSミニレター」の用紙をもらいましたか?

あなたの悩みを、あなたの力になってくれる人が読んで必ず返事をくれる手紙だよ。

どんな悩みでもいつからこのミニレターに相談したいことを書いて、気軽に送ってね。

お友だちが困っているときも相談してね。  
令和4年にくばられたミニレターは令和6年の3月末日まで切手はいらないよ。

みんなの声を聞かせてね。私たち人権擁護委員は、いつも君たちに寄り添っていますよ。

令和4年度

全国中学生

人権作文コンテスト

京都大会には、福知山協議会管内の中学校から1002編の応募があり、次の皆さんが入賞されました。

☆京都府人権擁護委員連合会長賞

日新中 (2年) 大槻 奏人さん

☆佳作

綾部中 (1年) 木庭 萌結さん

八田中 (3年) 立藤 笑湖さん

桃映中 (2年) 田中 一伽さん

南陵中 (1年) 細合 天音さん

夜久野中 (1年) 中川 由萌さん

京都共栄学園中 (2年) 前田 寿花さん

☆福知山協議会長賞

(府入賞7編を含む20編)

綾部中 (1年) 荒川 春希さん

(2年) 四方 涼子さん

(3年) 田原 小華さん

(3年) 大貝菜々子さん

(2年) 能勢 望さん

(2年) 澤田 響さん

八田中 (2年) 藤田 琉杏さん

桃映中 (1年) 大西 彩晴さん

南陵中 (1年) 堀 心優さん

日新中 (1年) 内山 奨大さん

大江中 (2年) 芦田 晴さん

福知山高等学校附属中 (1年) 山田 萌さん

祐貴さん

みなさま、おめでとうございました。

# 「家族はチーム」

綾部市立八田中学校 三年 立藤 笑湖

テレビ「マージナル」で「日本の女性の睡眠時間は、世界で一番短い」というフレーズを聞いて、私は驚いた。

気になって調べてみると、2021年経済協力開発機構OECDの国際比較調査で加盟国中、日本が最も短い睡眠時間であることが分かった。また、OECDデータから男女差を算出したところ、とりわけ女性の睡眠時間が短いことが明らかになった。

思い返せば、母は家族がまだ寝ている朝早くから一人起きて、朝食の準備をし、私たちが就寝しようとする時間帯も、夕食の後片付けや洗濯など、自分のことは後回しに家事をしている。そんな母の姿を見て、「母親になると大変なんだ」とぼんやり思っていた。しかし、そもそも私のこの捉え方は、間違っているのではないかと考えるようになった。

しばしば、ニュースでも日本の女性の管理職や政治家の割合が低いこと、育児休業をとるのは女性の方が多いことなどが取り上げられる。それは、日本が長く「女性は結婚したら仕事を辞める」「家事は女性がするもの」という考え方や価値観が、無意識の内に私たちに根付いている表れではないだろうか。2世代と呼ばれる私たち世代、「母

だから」「父だから」という感覚を捨てきれずにいる。家事全般は母親が行うものであることが当たり前だと思っっている部分がある。私の家庭では、自分が使った食器は自分で片付けるというルールがあったが、いつのまにか母に任せきりの状態になっている。子どもだからと都合よく勝手に解釈をし、母に甘えて、進んで手伝おうとしないのが現状だ。

私は、家族の一人として家事を「手伝い」ではなく、「分担する」という意識を高める必要があると考えている。

女性の社会進出や働き方が未だに進歩しないのは、家庭内における仕事の負担が女性に偏っているからではないだろうか。男性の育児取得率の低さや子育てに関する時間の短さなどにも、それが表れていると感じる。

私は、家庭はチームだと思う。自分の役割があり、お互いにできないことを助け合える関係性が「家族」というチーム。チームメイトであれば、チームメイト同士の関係は対等であるべきだ。世界全体でジェンダーレス社会を目指しているのだから、「家族」でも、性別も年齢も関係ない。料理が得意、掃除が好き、洗濯物をたたむのが上手、

家族間の雰囲気や和ませることに長けているなど、一人ひとりに特長がある。できる人が、できることをすればいいだけのことだ。

生まれたばかりの赤ん坊であっても、家族に笑顔と癒しを与えようという役割がある。子どもの時から、できることはやるという「家族」の法律に約束を決めておくこと、やらなければ誰かが困るといつことを確認してあげれば、きつと男女差のないチームを作ることができるとは思えないだろうか。そうすることが、女性の家事の負担を減らすことにつながる、家族との会話が増えたり、お互いの休息時間ができたりというプラスの面が表れると思う。

ジェンダーレス化が進んでいるEU諸国では、すべての分野において男女平等を保障し、性差別を禁止する憲章が掲げられている。法的拘束力、具体的な政策や取組、数値目標も示している。EUはジェンダー不平等指数の数値が高いこともあり、他国からは、ジェンダー平等の先進的な国として注目されている。(出典goodtopマガジン)

アイスランドでは、2016年に男女の賃金格差解消を求めて、女性がストライキを起したことで法律ができた。また、クオーター制(企業役員や公共の委員会の40%以上女性を起用する割り当て制)の導入により、女性リーダーがどの分野にも当たり前にいる社会になり、女性の首相も誕生している。

ジェンダーレス化の進む地域について調べていく中で、女性が活躍することが当たり前になっている国が増えつつあ

ることは喜ぶべき部分だが、法律で定められないと女性が活躍できない状況に、性差の価値観は簡単には消えてなくなるという問題だと感じた。

それでも、一人一人が自分らしく生きられる社会を目指して、国だけでなく、企業や個人など、自分たちができることを見つけて取り組まれている活動があることを中学三年生になってから人権学習で知った。性別を超えた概念が根付くように、私たちの世代から声を上げていかなければならない。

まずは、自分のチーム「家族」から、性別にとらわれず、一人一人の個性や特長を生かして、お互いに助け合いながら心地よく暮らせる居場所をつくりたい。そして、いつのまにかなくなってしまう食器洗いを再開させよう。

## 【作文コンテストを通じ】

寄せられた作文に共通していたのは、中学生の皆さんが、人権問題を身近にあるものとして捉え、将来に向かって前向きに考える姿でした。作文に記された素直で丁寧な表現は、人権を尊重し合うことの重要性や自らができることを提案するものもあり、大変読み応えがありました。

本コンテストが人権尊重について考えたり、周りの方たちと話し合ったりするきっかけとなることを願っています。

京都地方事務局 福知山支局

支局長 森田 聡



人権イメージキャラクター  
人KENあゆみちゃん

# 皆さんの問題解決のお手伝いをします

人権イメージキャラクター  
人KENまもるくん



## 人権擁護委員の活動

- お困り事・人権相談に応じています。(法務局や市内7か所での特設相談、子ども・女性の電話相談)
- 人権侵害による被害者を救済する活動。(法務局職員と協力して調査を実施)
- 市民一人ひとりの人権意識を高めるため、さまざまな啓発活動に取り組んでいます。



京都FM丹波にて／啓発活動

- ★保育園・幼稚園・小学校で「人権の花」運動・人権教室
- ★中学生人権作文コンテスト
- ★子どもの人権SOSミニレター
- ★男女共同参画週間街頭啓発
- ★社会福祉施設で人権啓発と人権相談（高齢者・障がい者等）
- ★人権広報誌「かがやき」年1回発行（全戸配布）

## 人権擁護委員による人権相談

こんな窓口があります

### 女性の人権 ホットライン

人権イメージキャラクター  
人KENあゆみちゃん



ゼロナゼロのハートライン

☎0570-070-810

### みんなの人権 110番

人権イメージキャラクター  
人KENあゆみちゃん



ゼロゼロみんなのひやくとおぼん

☎0570-003-110

### 子どもの人権 110番

人権イメージキャラクター  
人KENまもるくん



ゼロゼロななのひやくとおぼん

☎0120-007-110

### 福知山市・綾部市での特設人権相談所

- ・福知山市役所 市民相談室 毎月第4月曜日 13時～16時
  - ・三和支所 毎月15日 9時～12時
  - ・夜久野ふれあいプラザ 毎月20日 9時～12時
  - ・大江町総合会館 毎月10日 9時～12時
  - ・綾部市役所まちづくりセンター 毎月10日 13時～15時  
(物部会館・上林いきいきセンターは要予約)
- ※相談日が土曜・日曜・祝日と重なる場合は、前日又は翌日になります。

### 京都府施設での特設人権相談所

- ・福知山総合庁舎 奇数月 第1火曜日 13時～16時
- ・綾部総合庁舎 偶数月 第1火曜日 13時～16時

### 常設人権相談所

- ・法務局福知山支局／毎日(土・日・祝日を除く)8時30分から17時15分  
福知山市字内記10-29 TEL 0773-22-1293

生活に欠かせなくなったインターネットですが、SNS等で誹謗中傷や差別投稿に「いいね」をすれば本人の意図にかかわらず拡散され、差別を拡めることとなります。インターネットの書き込みも、「いいね」も他人を思いやる気持ちや人権尊重の気持ちを「忘れないうで」と願ってやみません。

### 編集後記

◎綾部市  
大島 得土 栗町  
竹内早智子 栗町  
永井 良美 上杉町  
山本みさ子 西町

◎福知山市  
植村 泰興 堀  
柿坂 千代 前田  
阪根美智子 猪野々  
山崎 秀信 長田  
岡田 壽仁 三和町  
西川 米子 三和町  
上田 博康 夜久野町  
月見 正代 夜久野町  
岡野 天明 大江町  
眞下眞壽美 大江町

大槻 章子 西坂町  
土田 哲生 新町  
福井 良子 寺町  
渡邊 博幸 睦寄町

大江みどり 夷  
蒲 善光 堀  
佐々木和美 篠尾  
吉見 博 内記  
田中 久志 三和町

倉垣 康子 夜久野町  
的場 渡 夜久野町  
友繁 京子 大江町  
松田 昇司 大江町

(五十音順)

人権擁護委員は  
あなたの身近な  
相談相手です